

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 27 年 8 月 17 日（月）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	① 肺癌 ALK タンパク(高感度 IHC)	② 肺癌 ALK FISH 法
検査コード	7798	7914
JLAC10	5D594-0000-075-666-49	8B323-0000-075-841-49
診療行為コード	160204850	160200750
検体量	パラフィンブロック	
保存・容器	常温・W	
実施料(判断料)	2,700 点(病理)	6,520 点(病理)
所要日数	9 ~ 13 日	9 ~ 17 日
検査方法	高感度免疫染色法	FISH 法
基準値	設定なし	
報告形態	別紙報告	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にご連絡ください。 ・病理組織検査報告書のコピーを添付してください。 ・非小細胞肺癌を含む組織のホルマリン固定パラフィン包埋ブロックをご提出ください。 	

① 保険収載名称：ALK 融合タンパク

保険注釈：ALK 融合タンパクは、非小細胞肺癌患者に対して、ALK 阻害剤の投与の適応を判断することを目的として、プリッジ試薬を用いた免疫組織染色法により病理標本作製を行った場合に当該薬剤の投与方針の決定までの間に 1 回を限度として算定する。

② 保険収載名称：ALK 融合遺伝子標本作製

保険注釈：ALK 融合遺伝子標本作製は、ALK 阻害剤の投与の適応を判断することを目的として、FISH 法により遺伝子標本作製を行った場合に、当該薬剤の投与方針の決定までの間に 1 回を限度として算定する。

《 解 説 》

ALK (Anaplastic Lymphoid Kinase : ALK) 融合遺伝子は、なんらかの原因により ALK 遺伝子とほかの遺伝子が融合することでできる特殊な遺伝子であり、非小細胞肺癌患者の 2~5% に発現すると報告されています。ALK 融合遺伝子があると、この遺伝子からできる ALK 融合タンパクの作用により腫瘍細胞が増殖します。

本検査は、肺癌組織中の ALK 融合タンパク発現の有無を検出し、肺癌 ALK (FISH 法) と組み合わせることにより、腫瘍細胞の増殖を阻害し、抗腫瘍効果を発揮する ALK 阻害剤投与の適応を判断する補助として使用します。